

1 機種の選定

確認したキッチンの奥行寸法によって、入替えの機種を選定します

この機種をベースに説明します

フロントオープン	FULLオープン／ディープタイプ
NP-5500/5600シリーズ NP-5700/5800シリーズ NP-45A/NP-U45Bシリーズ	キッチン奥行650mm以上の場合 NP-45MD9SP/45MD9S/ 45VD9S/45RD9S・9K キッチン奥行600mmの場合 NP-45MC6T

キッチンの天板奥行が650mm以上の場合

以下の4機種から選択できます。



【ご注意】 上記4機種を入替える場合、「片ナットエルボ」を準備しておくとしやすくなります。

電源変更工事
200V機種(NP-5620B/5720BW/5820BP)の場合、フロントオープンを取り外したあと、電源変更工事が必要になります。

2 給・排水の取り外し

点検口を開放し、給・排水ホースを外します

1 点検口(ボデーB)の取り外し

まず周辺を片付け、床を傷つけないように養生します。点検口(ボデーB)取付けネジ(2本)を外すと、下部が開放されます。上に持ち上げるようにして、上部のツメに掛かっている部分を外し、手前に引いて点検口(ボデーB)を取り外します。

2 ケコミカバーの取り外し

ケコミカバー取付けネジ(2本)を外して、ケコミカバーを取り外します。

3 給・排水の取り外し

点検口(ボデーB)・ケコミカバーを外すと、台枠内の給・排水部分が現れます。給水配管の止水栓を完全に閉めてから、給・排水ホースを配管から外します。

【ご注意】 ホース内部の残水で床が濡れないように、受け皿やウエスをあらかじめ用意してください。

点検口(ボデーB)・ケコミカバーを外した状態

排水ホース

ホースバンドをゆるめる

給水ホース

マイナスドライバーで止水栓を完全に閉めてからフレキパイプのナットを外す

点検口(ボデーB)取付けネジ2本を外す

ツメの掛かりを外す

点検口(ボデーB)

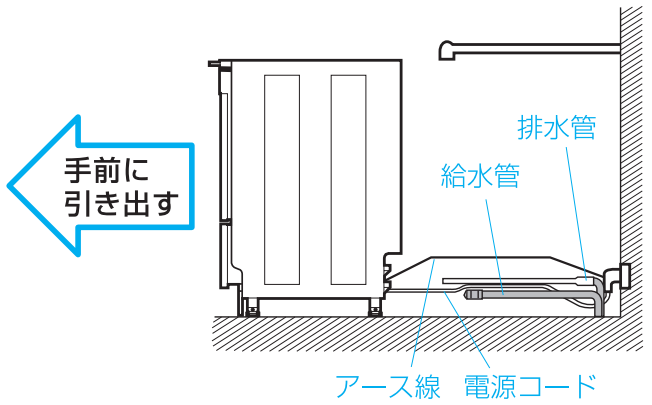
3 現状機器の取り外し・引き抜き

古いビルトイン食洗機を撤去します

1 現状機器の引き抜き

本体を持って水平方向に引っ張り、食洗機本体を引き抜きます。

【ご注意】 調整脚を回して高さを下げないと引き出せない場合があります。



CHECK!

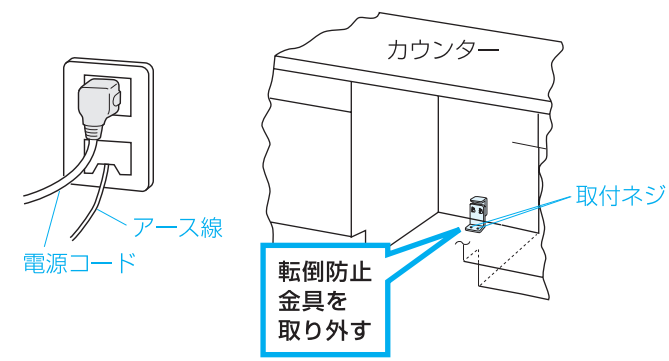
引き抜きにくいときは、
ここを確認!

食洗機本体がワークトップの裏側にネジ止めされている場合があります。

*上記以外で取り外しにくい場合は、長年の設置により調整脚が床面に固着している可能性があります。強く引けば外れます。

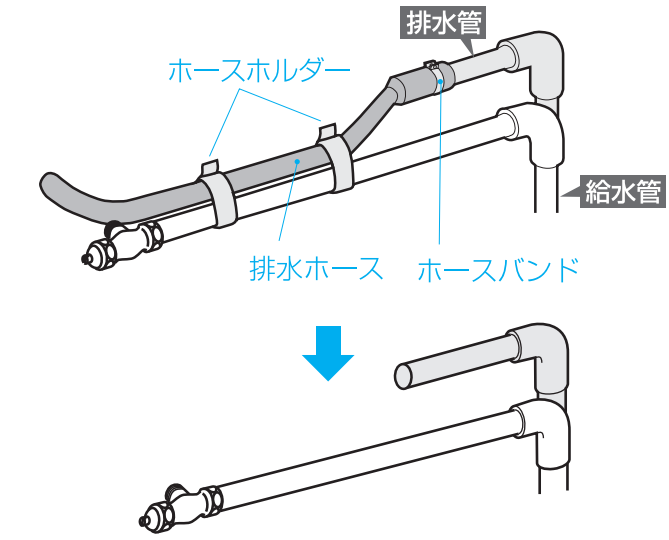
2 電源コード、アース線の取り外し

食洗機本体から出ている電源コード、アース線を外します。また、床面に取り付けられている転倒防止金具を取り外します。



3 排水ホースの取り外し

ホースバンドとホースホルダーを外して、排水ホースを取り外します。



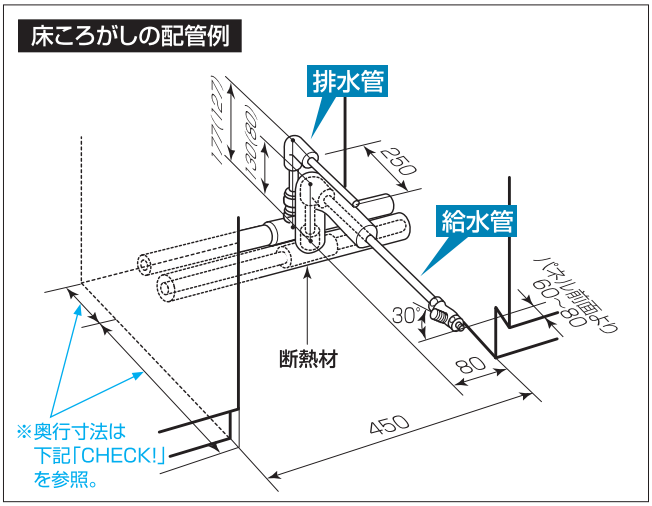
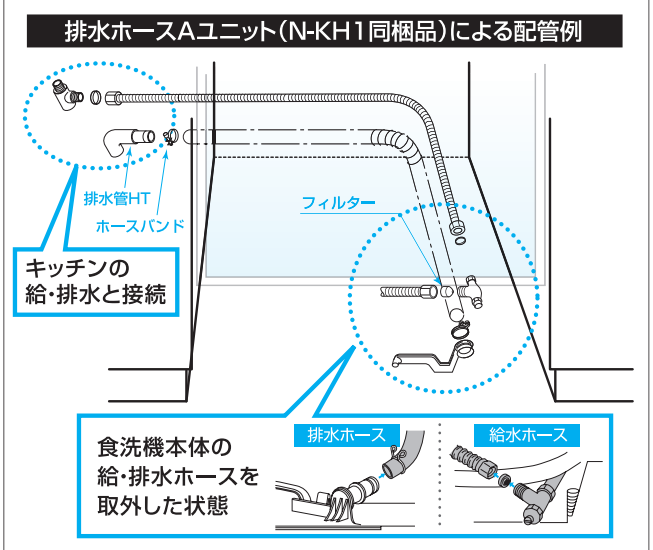
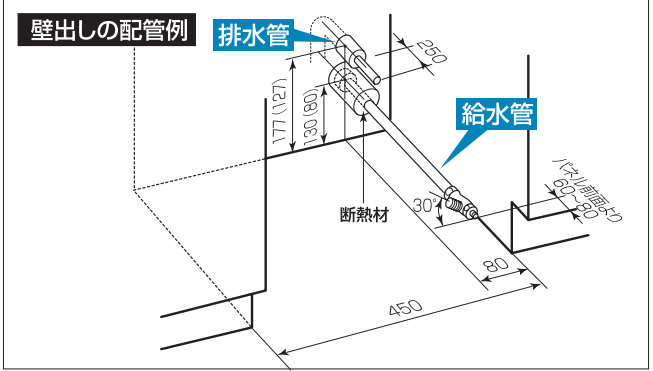
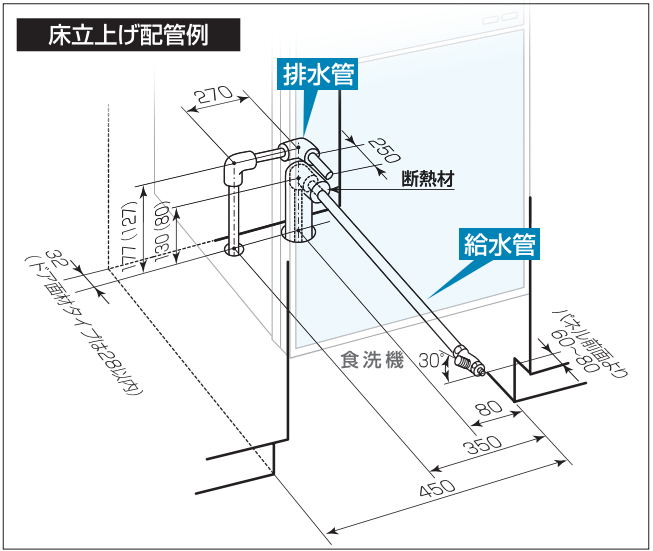
●給・排水の配管パターンは建物の条件によって異なります。次ページをご参照ください。

4 給・排水と電源の確認

現状の給・排水配管と電源を確認します

1 給排水配管工事の確認

旧フロントオープンの標準的な配管施工は、以下のようになっています。いずれの場合も、配管を変更する必要はありません。



CHECK!

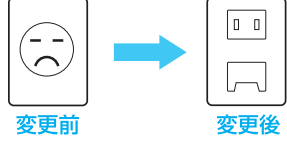
■ディープタイプ台枠内の配管用空間について

(イラストはNP-45MC6T)

	NP-45MC6T	MC6T以外のディープタイプ
A	ドア前面から台枠の後脚奥側までの距離(奥行)	495mm 本体背面まで約88mmの空間があります。
B	台枠後脚間の距離(幅)	509mm 本体背面まで約111mmの空間があります。
C	床面から台枠の上限までの距離(高さ)	364mm 157~257mm キッチン高さ800~900mmに対応します。

2 電源の確認

200V機種(NP-5620B/5720BW/5820BP)の場合、フロントオープンを取り外したあと、電源変更工事が必要になります。100V電圧に変更し、125V 15Aのアースターミナル付き埋込みコンセントを取り付けてください。



5 入替機器の準備と設置

本体・付属品を確認のうえ、取付設置説明書に基づいて設置します

1 本体と付属品の確認

梱包を開き、食洗機本体と同梱付属品を確認します。本体、かごのテープやダンボールをすべて取り外してください。

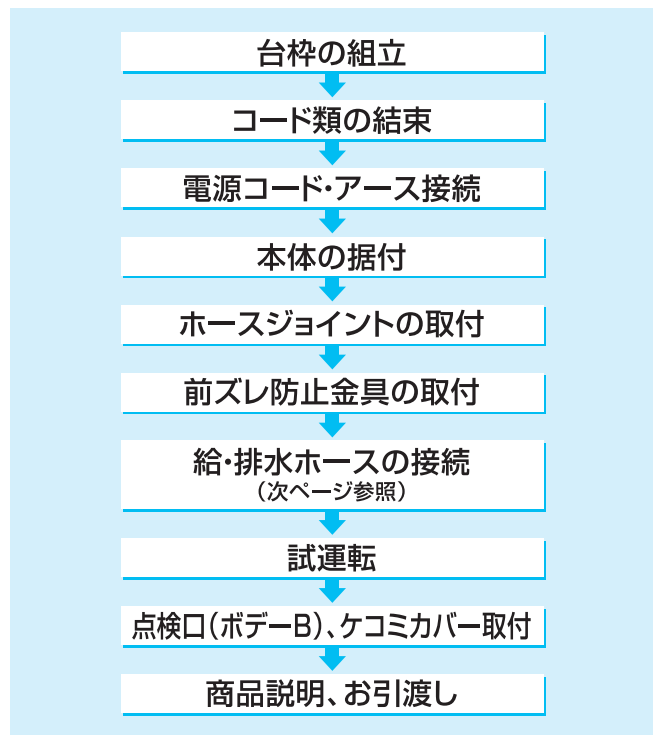
■同梱付属品一覧

本体をしっかり支えるために			下部スペースの化粧用に	
① 台枠 (調整脚付き) (左右各1個)		⑥ 木ネジ (φ4×30mm) ● ①横連結用 (4本)	⑩ 点検口(ボデー-B) (1個)	⑪ ケコミカバー (1枚)
② 前つぎ板 (調整ネジ付き) (1個)		⑦ ネジⓈ (φ4×14mm) ● ②・③・④・⑤ 取付用 (8本)	⑫ ネジ長黒 (φ4×20mm) ● ⑪ 取付用 (2本)	● フィラー(MD9のみ) (1個)
③ 後つぎ板 (1個)		⑧ 調整脚固定金具 (各1個)	給・排水管のスムーズな接続のために	
④ 転倒防止金具(2個)		⑨ ネジⒶ (φ5×15mm) ● ⑧取付用 (5本)	⑬ ホースジョイント(1個)	⑮ ホースバンドⓀ (1個)
⑤ 前ズレ防止金具(1個)			⑭ ホースバンドⓀ(2本)	

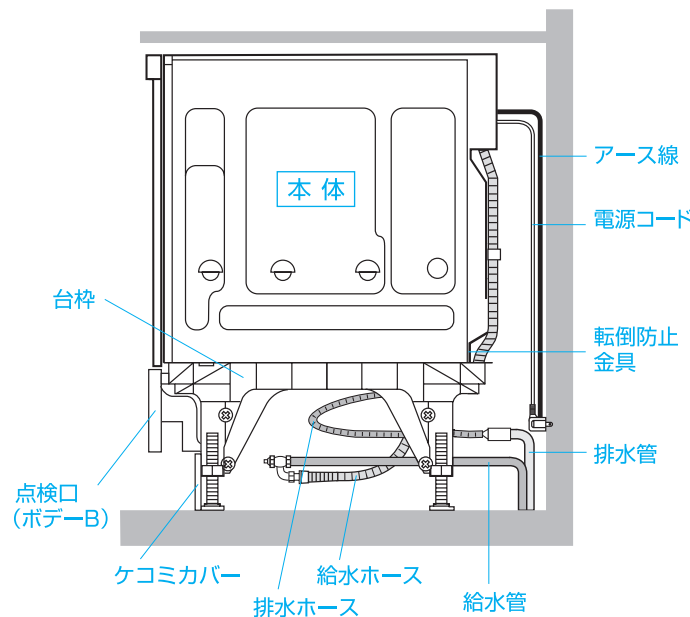
2 本体の設置

同梱の取付設置説明書に基づいて本体を設置します。

■設置の流れ



■設置完了図



6 給・排水管との接続

給水ホース、排水ホースを接続します

1 給水ホースの接続

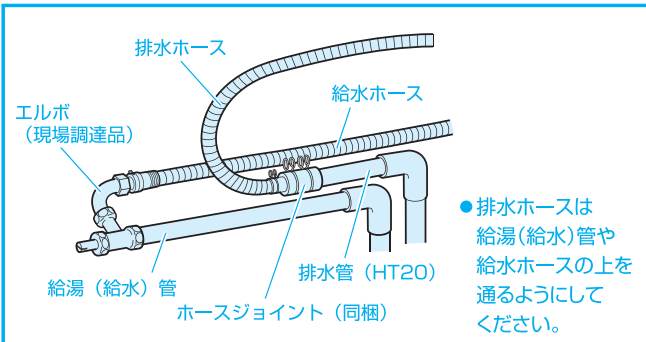
- 1) 既設のアングル型止水栓にフィルター(給水ホースにセットされています)を入れます。このとき、必ずフィルターのふくらんだ方が止水栓側にくるようセットしてください。
- 2) 片ナットエルボ(別途調達品)を使って、給水ホースを確実に接続します。
- 3) ナットは手で軽く締め込んだ後、市販の工具(スパナ等)を使って約半回転締め付けてください。適正締め付けトルクは5~10N・m{50~100kgf・cm}です。
※締め付けすぎると水もれの原因になります。

2 排水ホースの接続

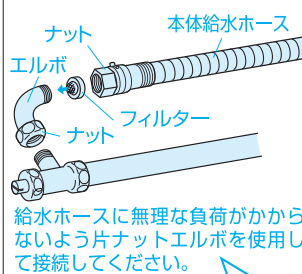
- *排水ホースは給水管や給水ホースの上を通るようにしてください。
- 1) 排水管にホースジョイント⑬を接続し、ホースバンドⓀ⑮でとめます。このとき、ホースジョイントの内側を水で濡らすと作業がしやすくなります。
 - 2) 排水ホースに折れやねじれがないことを確認します。

片ナットエルボは買替え専用機種NP-45MC6T以外の機種には同梱されていません。ホームセンター等で別途調達してください。

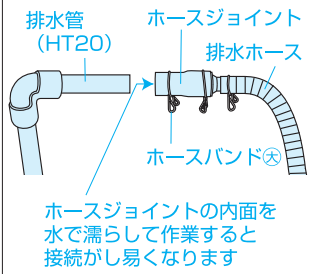
■床立ち上げの接続例



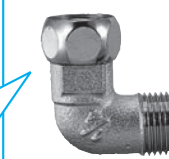
〈給水接続部拡大〉



〈排水接続部拡大〉



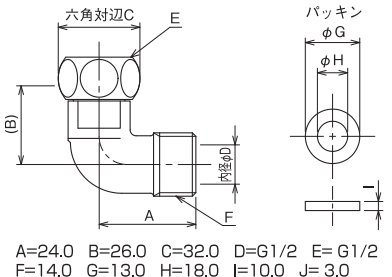
片ナットエルボ



呼び径：13
ネジ径：G1/2

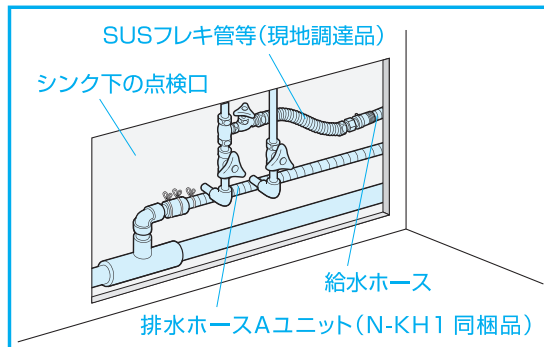
注意：サイズが異なると正しく接続できません。

【参考図】

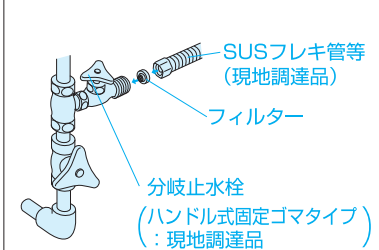


(参考) カクダイ製 6461-13、6492-13
三栄水栓製作所製 T204-13

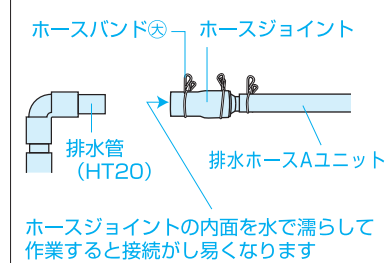
■別売の簡易排水管キット(N-KH1)による接続例 (接続部に本体給・排水ホースが届かない場合)



〈給水接続部拡大〉



〈排水接続部拡大〉



注意



給水ホースおよび排水ホースは切断しない

水もれの原因となります。

禁止

給水ホースを床面に落下させない

給水ホースの電磁弁は重量物です。落下させるとケガをしたり床面がキズ付くおそれがあります。

禁止